

公共事業の事業評価書

(林野公共事業の事前評価)

令和 3 年 1 月

1 政策評価の対象とした政策											
<p>令和2年度に新規地区採択を要求している次の事業地区を対象として、事業評価（事前評価）を実施した。</p>											
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="256 387 580 465">区 分</th> <th data-bbox="580 387 1013 465">事 業 名</th> <th data-bbox="1013 387 1236 465">評 価 実 施 地 区 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="256 465 580 533">補助事業</td> <td data-bbox="580 465 1013 533">民有林補助治山事業</td> <td data-bbox="1013 465 1236 533">1</td> </tr> <tr> <td data-bbox="256 533 580 584">合 計</td> <td data-bbox="580 533 1013 584"></td> <td data-bbox="1013 533 1236 584">1</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	事 業 名	評 価 実 施 地 区 数	補助事業	民有林補助治山事業	1	合 計		1		
区 分	事 業 名	評 価 実 施 地 区 数									
補助事業	民有林補助治山事業	1									
合 計		1									
2 政策評価を担当した部局及びこれを実施した時期											
<p>1 評価担当部局 事業実施主体が収集・把握したデータ等をもとに、林野庁森林整備部治山課において実施した。（「事業評価担当部局一覧表」別添1）</p> <p>2 評価実施期間 令和2年10月から令和3年1月まで</p>											
3 政策評価の観点											
<p>本評価においては、必要性、効率性、有効性の観点等から総合的かつ客観的に評価を行った。事業地区の評価の観点は、「林野公共事業における費用対効果分析について（概要）、新規採択チェックリスト」（参考資料）に示すとおりである。</p>											
4 政策効果の把握の手法及びその結果											
<p>政策効果については、事業採択の適正な実施に資する観点から、費用便益分析、チェックリストにより総合的かつ客観的に把握した。</p> <p>評価の結果については、「地区別評価結果」（別添2）のとおりである。</p>											

5 政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報に関する事項

本評価を行う過程において使用した資料は、「地区別評価結果」(別添2)のチェックリスト等及び「林野公共事業における費用対効果分析について(概要)、新規採択チェックリスト」(参考資料)である。

なお、上記の資料は、林野庁ホームページで公表することとしている。

(<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/hyouka/index.html>)

その他の資料についての問合せ先は、「問合せ先一覧表」(別添3)のとおりである。

6 政策評価の結果

評価の対象とした事業地区において、事業の必要性、効率性、有効性が認められるとの結果であった。

事業の評価結果は、「地区別評価結果」(別添2)のとおりである。